

井上康生氏に県民栄誉特別賞

旭化成 大野、永瀬、池田選手に特別表彰

河野知事はきょう午前の定例会見で、東京五輪の柔道男子日本代表を率いた井上康生監督（宮崎出身）に県民栄誉特別賞を贈呈すると発表した。旭化成柔道部の大野将平選手（73kg級金メダル）、永瀬貴規選手（81kg級金メダル）、旭化成陸上部の池田向希選手（20歳競歩銀メダル）にはスポーツランドみやざき特別表彰を贈る。

また、高鍋町出身でイギリス代表としてスケートボード女子パークで銅メダルを獲得したスカイ・ブラウン選手には県民栄誉賞を、都城高出身で野球日本代表のエースとして金メダルに貢献した山本由伸選手（オリックス）にはスポーツランドみやざき特別表彰を贈る。

一般的に本県出身といえる選手が個人でメダル、団体で金メダルを獲得した場合に贈呈。県民栄誉特別賞は、栄誉賞の受賞者が重ねて対象基準に該当する場合に表彰する。スポーツランドみやざき特別表彰は、ゆかりの選手の顕著な功績をたたえる。

井上監督はシドニー五輪で県民栄誉賞、リオ五輪で県民栄誉特別賞を受賞。大野選手と永瀬選手も前回のリオ五輪で特別表彰を受けており、2度目の受賞となる。表彰式などは未定。

河野知事はゆかりの出場選手が13人、メダリストが5人というのは過去最高。事前キャンプで宮崎市で行ったドイツ陸上、イギリス・ノルウェーのトライアスロン、アイルランド・ボクシングなどが金メダルを獲得したと紹介した。

知事は「東京五輪ではサーフィンの国際大会など宮崎で躍動した選手も

活躍した。含め、成果が出たので、スポーツランドみやざきの将来に結びつけていきた」と語った。